

建設経済常任委員会報告事項資料

資料 番号	資 料 名	所 管 課
1	レンタサイクル事業における拠点の増設 について	経 済 部 観 光 課
2	酒匂川流域下水道編入事業について	下 水 道 部 下 水 道 整 備 課

平成27年11月24日

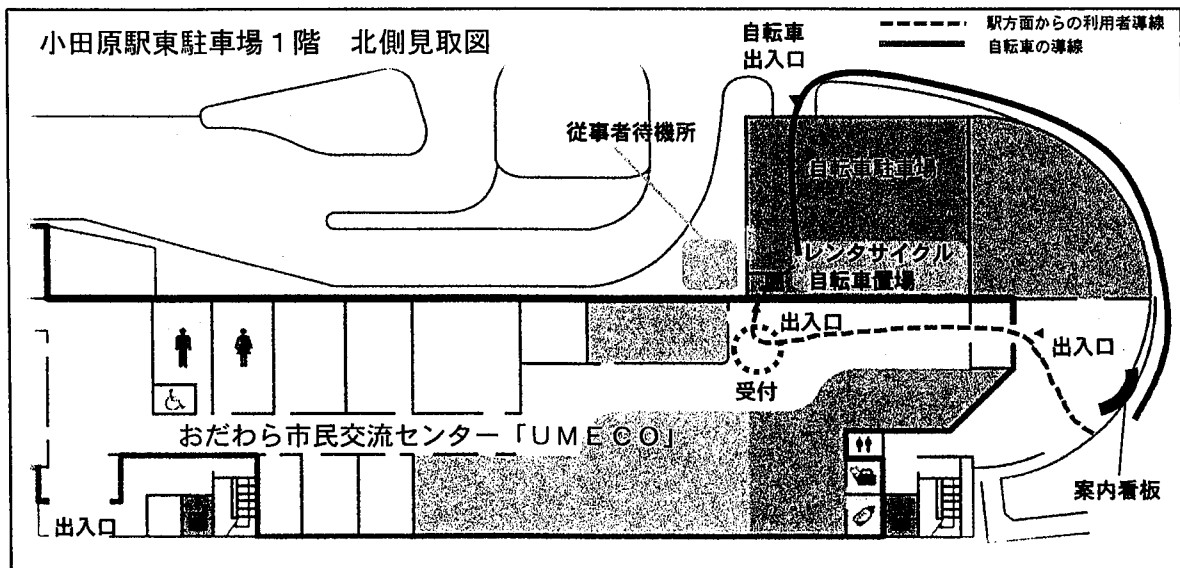
レンタサイクル事業における拠点の増設について

レンタサイクル“ぐるりん小田原”は、本市を訪れた観光客の利便性・回遊性向上を目的に、平成 17 年にスタートしました。

このたび、小田原駅東口駐車場の 1 階に拠点を増設するとともに、電動アシスト付自転車を導入することとなりました。

新規拠点の概要

- (1) 所在地 小田原駅東口駐車場 1 階 自転車駐車場内ほか
- (2) 自転車の台数 普通自転車 19 台、電動アシスト付自転車 4 台 計 23 台
- (3) 開設日時 平成 27 年 12 月 1 日 (火) 午前 9:00
- (4) 運営方法
 - ①施設内の自転車駐車場内ほかに事業用スペース (約 50 m²) を置く。
※施設所有者の (一財) 小田原市事業協会と本市で賃貸借契約を締結予定
 - ②これまで同様、本市と NPO 法人小田原ガイド協会の協働事業とする。
 - ③事業収入は、本市の事業費補助と利用者からの料金収入からなり、NPO 法人小田原ガイド協会の人件費や自転車等の備品購入費等に充てる。
- (5) 利用料金 普通自転車… 1 回 300 円
電動アシスト付自転車…4 時間まで 1,000 円
※保証金 1,000 円 (自転車返却時に全額返金)
- (6) 貸出時間 9:00～16:30
- (7) 休業日 12/31～1/1



【参考 (既存の拠点)】

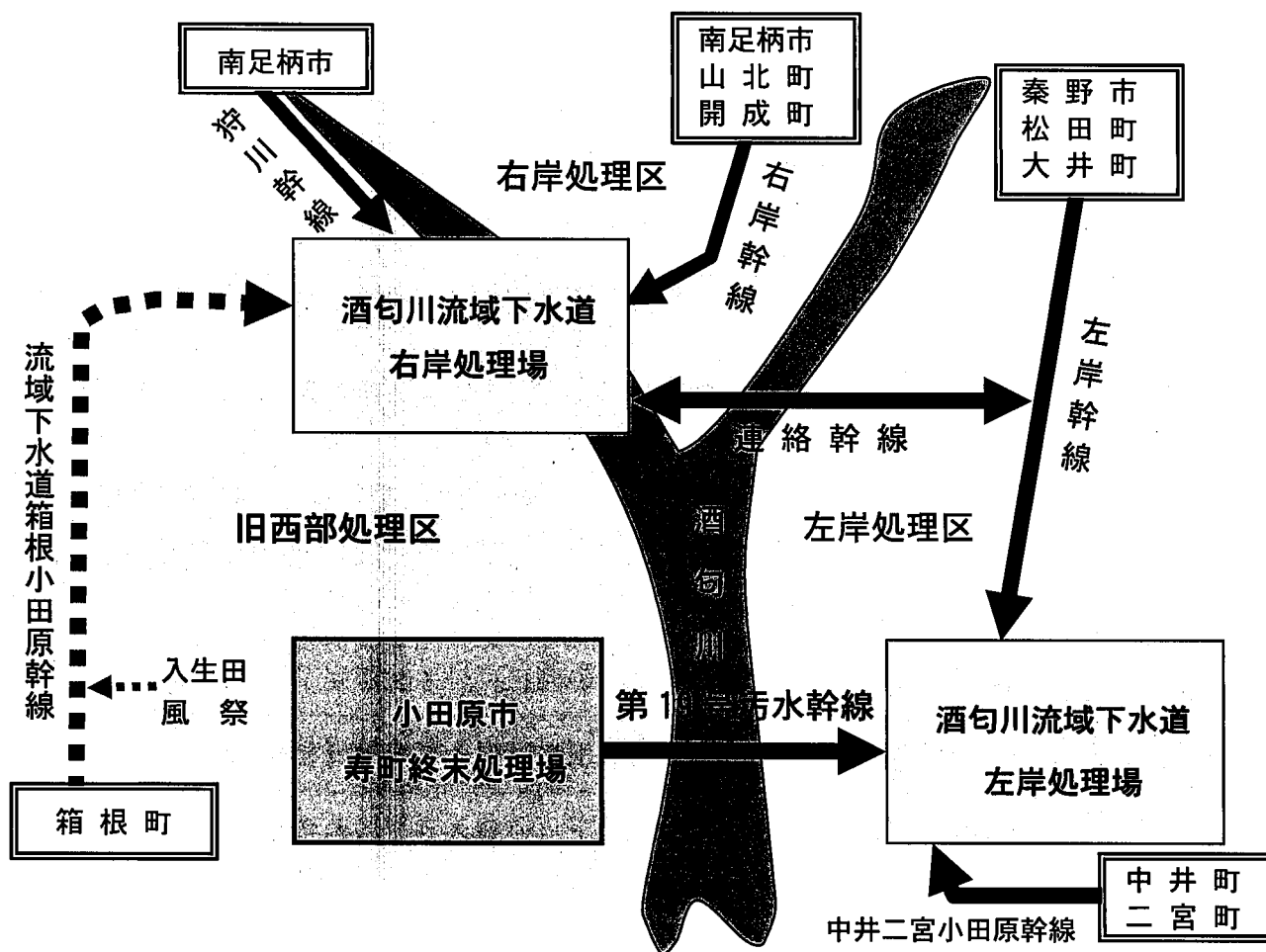
- (1) 所在地 小田原城歴史見聞館横
- (2) 開設時期 平成 17 年 7 月 15 日
- (3) 平成 26 年度実績 2,091 台

酒匂川流域下水道編入事業について

1 流域下水道編入事業の概要

将来の人口減少や水需要の低迷等により、計画汚水量が減少する見込みとなったことから、本市単独公共下水道の旧西部処理区を酒匂川流域下水道へ編入し、寿町終末処理場の処理機能を廃止する。

流域下水道編入イメージ図



2 編入時期

平成28年4月

3 流域下水汚泥処理事業の廃止

編入に伴い「流域下水汚泥処理事業」は平成28年3月をもって廃止する。

4 編入後の寿町終末処理場の施設・機能について

(1) 下水道終末処理場としての汚水処理機能を廃止する。

(2) 継続する機能

ア 早川中継ポンプ場、南町中継ポンプ場、マンホールポンプ（20箇所）の遠隔操作

イ 市内全域の下水道施設の維持管理拠点

(3) 新たに付加する機能

ア 左岸処理場への送水調整（第19号汚水幹線の制水ゲートの遠隔操作）

イ ゲリラ豪雨等に起因する基準を超える汚水流入のピーク調整（既存施設を活用した一時的な貯留）

5 流域下水道編入事業の主な経緯

年 月	内 容
H13. 11	神奈川県、小田原市、箱根町の3者にて「箱根湯本地区・小田原西部地域下水道整備検討会」を発足し検討に着手
H16. 4	酒匂川流域下水汚泥処理事業により、寿町終末処理場の汚泥を酒匂川流域下水道左岸処理場へ送泥し汚泥の処理開始
H17. 8	「酒匂川流域下水道事業連絡協議会臨時会」において、箱根町湯本地区、松田町寄地区及び本市西部処理区の酒匂川流域下水道への編入承認
H17. 9	都市建設常任委員会にて、流域下水道編入事業の概要報告
H20. 2	都市計画決定（単独公共下水道の廃止）の手続き完了
H23. 11	建設経済常任委員会にて、流域下水道編入事業の概要報告
H25. 2	建設経済常任委員会にて、流域下水道編入事業の概要報告
H25. 3	都市計画変更（第19号汚水幹線ルート変更）、都市計画法事業認可変更及び下水道法事業計画変更の手続き完了
H25. 12	第19号汚水幹線整備工事着手
H28. 2	第19号汚水幹線整備工事完了（予定）